

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2016 年度 共同研究成果報告書〔研究資源活用型〕

2016 年 月 日 提出

1. 研究課題名	
浮世絵データベースシステムを応用した浮世絵の新研究 (英文標記: Applied approach using the ARC Ukiyo-e Database system)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
岩切 友里子(いわきりゆりこ)	立命館大学衣笠総合研究機構・客員研究員
3. 研究分担者 (合計:	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
中村 恵美(なかむらえみ)	元都立中央図書館・司書
Tim Clark	大英博物館・日本担当主任学芸員
Roger Keyes	浮世絵研究者
赤間 亮(あかまりょう)	立命館大学・文学部・教授
松葉涼子(まつばりょうこ)	立命館大学衣笠総合研究機構・専門研究員
Vanessa Tothill	立命館大学文学研究科 D3
John Resig	立命館大学衣笠総合研究機構・客員研究員

4. 研究課題の概要(300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>浮世絵専門のイメージ・データベースとして、世界を代表するものに赤間のアート・リサーチセンター浮世絵データベースとジョン・レジグの Japanese Woodblock Print Search がある。浮世絵データベースシステム開発のキーマン2人と、浮世絵専門研究者による新たな研究データベースを開発する。</p> <p>本課題がイメージする研究データベースは、カタログレゾネの日常的な蓄積を可能とする応用的な展開を目指すもので、これによって、データベースから絵師別カタログ、役者別カタログを動的に構築する仕組みを確立する。具体的には、役者は、八代目市川團十郎、絵師は、芳年、国芳、ならびに Roger Keyes カタログによる、北斎カタログのデータベース化を実現する。2017 年度に開催される大英博物館での北斎展の準備に結びつけられる実用システムを完成させる。</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

年度に引続き、ARC 浮世絵 DB へのデータ蓄積を行いつつ、メタデータなどの修正を行った。ARC のデータベースシステムを活用して可能となる浮世絵研究の手法を開発した。概要を端的にまとめると、

- 1, 大英博物館に寄贈されたロジャー・キーズ氏・ピーター・モース氏による北斎プリントカタログレゾネのデータ構造を分析し、RSK 北斎カタログレゾネシステムを開発した。
- 2, 浮世絵 DB にカタログレゾネ対応のためのあらたな機能を追加し、芳年役者絵カタログレゾネを完成させた。
- 3, 浮世絵を中心的資料とし編集された総合八代目市川団十郎資料集第 1 巻を上梓した。
- 4, その他、浮世絵 DB に収録されている ARC の芳年作品の校合刷りについて、分析・考証を行い、アート・リサーチに報告を掲載した。

★送られてきたフォーマットが資源活用型であったため、研究成果の詳細を追加します)

概要の内容に沿って、詳細を以下に述べる。

1, 大英博物館のロジャーキーズ・ピーターモース北斎版画カタログレゾネは、1993 年頃にほぼ完成をみていたものであるが、ピーターモース氏の突然の死去に伴い、出版の機会を得ないまま、米国フリア美術館に寄託されていた。今回、大英博物館がロジャーキーズ氏の意向に従ってこれを譲受け、WEB 上で、公開するプロジェクトがスタートした。これを受け、本プロジェクトでは、ARC のテクニカルサポートボードの協力を得て、本カタログレゾネを一般公開するためのシステム開発に着手し、一通りの完成を見た。

その特徴は、(1)印刷された二人の著者の原稿を直接閲覧できること。(2)電子テキスト化した内容が検索できること。(3)カタログレゾネに含まれていた白黒コピーを中心とする画像が閲覧できること。(4)ARC 浮世絵ポータル DB に搭載されている作品が本カタログレゾネと連動すること。の四点であり、これが実現した。

2, 北斎版画カタログとは異なり、浮世絵ポータル DB のみを使って、カタログレゾネの編集を可能とするように、浮世絵ポータル DB の設計仕様を改良し、大幅なシステム変更を実施した。これにより、メンバーの岩切友里子氏による芳年役者絵カタログレゾネが完成し、公開された。引続き、国芳戯画カタログレゾネの構築を進めている。

3, 浮世絵ポータルデータベースを活用し、八代目市川団十郎の生涯を浮世絵を中心とする絵画資料にを集め、発信する。本年度は、整理されたデータを基に、第一巻を公刊することができた。来年以降も引続き、2 巻、3 巻を刊行予定であるが、これらのデータは、浮世絵 DB に還元され、海外の研究者らも、本研究の成果を容易に閲覧できることを目指している。

6. 研究業績

(1) 著書

・「八代目市川団十郎画像資料集 I」, 単著, 2016.8, 私家版, 中村恵美

(3) 研究発表等

オンライン・イメージデータベースを応用した浮世絵研究, 単独, 2016 年 11 月, 2016 北斎ワークショップ(京都), 赤間 亮